

令和4年度 岩手県立宮古高等看護学院 学校運営評価

1 学校評価の目的

学院の学校運営、教育全般について評価を行い、組織的・継続的な改善を図る

2 学校評価の実施方法(評価者、評価時期)

- 1)教職員が評価表に基づき年度末までに評価を実施し、教員会議で協議する
- 2)1)の結果を教育運営会議で協議し最終評価とする

3 評価項目

学校運営に関する8項目の評価分類、40項目の評価項目について評価する

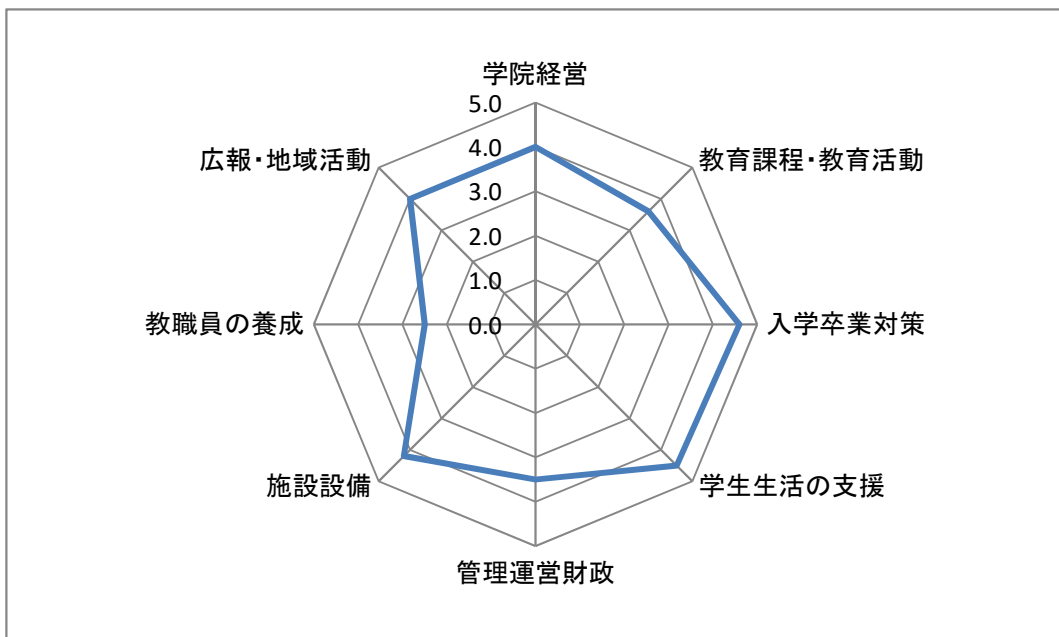
1	学院経営	5	管理運営財政
2	教育課程・教育活動	6	施設設備
3	入学卒業対策	7	教職員の養成
4	学生生活の支援	8	広報・地域活動

4 評価尺度

5:良い 4:やや良い 3:ふつう 2:やや不十分 1:不十分

5 評価結果

1	学院経営	4.0
2	教育課程・教育活動	3.6
3	入学卒業対策	4.6
4	学生生活の支援	4.5
5	管理運営財政	3.5
6	施設設備	4.2
7	教職員の養成	2.5
8	広報・地域活動	4.0



6 評価結果の分析

評価項目	現状	課題
学院運営	業務方針に基づいた主要課題(国試対策、主体的に学ぶ学生の育成、社会人基礎力の育成、岩手の復興を担う人材の育成、入学生の定員確保、学習環境の整備、実習施設との連携強化)に取り組んだ。各主要課題について、担当教員が中心となり年間目標、実行計画の具体策を立案、計画に基づいて実践した。	主要課題への取り組み状況や到達度を評価し令和5年度の業務運営方針に反映させる。組織全体で課題を共有し、進捗状況に応じた支援体制を構築する。
教育課程教育活動	令和4年度より新カリキュラム施行となった。各分野(基礎、専門基礎、専門)のねらい・科目概要・教育内容をもとにシラバスを作成し講師へ依頼した。臨地実習では、コロナ禍で実習方法を変更して柔軟に対応する必要性が生じ、その都度可能な方法を検討し対応した。専任教員と実習病院の管理者・指導者が連携する体制が確立されており、学生の状況をタイムリーに共有している。	令和4年度入学生より、新カリキュラム施行となった。基礎分野、専門基礎分野、専門分野の各科目の教育内容の充実に向け、引き続き検討する。令和4年度卒業生26名は第112回国家試験全員合格、4年連続100%を達成した。国試対策や教育内容・教育方法の充実に向け、継続して取り組む。
入学卒業対策	平成28年度より定員増となったが、受験者数はほぼ横ばいである。3年ぶりに学校公開を開催し、多数の参加があった。学院ホームページの充実を図るほか、学生の出身高校へ学生が作成したニュースレターやを送付し学院の魅力を発信した。県内で開催される進学セミナー等にはほぼ参加している。令和4年度卒業生の県内就職率は約80%であり、県内就職率70%の目標を上回った。	学院の魅力を広く発信するため、引き続きホームページの充実に取り組む。令和5年度も、感染対策を講じて学校公開開催する。就職・進学について、学生個々の希望が達成できるよう引き続き支援する。
学生生活の支援	全学年の担任・副担任が中心となり、定期的に面談を実施、就職・進学や学生生活における悩みなど個別に対応している。また、学生へインターンシップやオンラインでの就職ガイダンス等の情報を提供し、進路決定を支援している。その他、奨学金に関する情報提供や手続きなど担当者を中心に支援している。6回/年、カウンセリングを実施しており、希望する学生が受けられるよう調整している。	経済的、精神的側面から支援し、学業に専念できる環境づくりに今後も継続して取り組む。
管理運営財政	年間の予算計画に基づき事業を執行している。監査の結果も概ね良好との評価であった。節電やリサイクル用紙使用など、可能な範囲で経費削減に努めている。災害発生時に教職員・学生が迅速に対応できるよう、災害対応マニュアルを改訂した。	学院運営に対する学生の意見や要望を取り入れる方法を検討し、改善が必要な事項について検討する。
施設設備	情報管理室のパソコンは一人1台使用可である他、Wi-Fi環境の整備に取り組んだ。体育館、図書室、多目的ホール、カンファレンス室、講堂などは、学生の学習やサークル活動に活用されている。コロナ感染拡大に伴い、学内実習に切り替えた際に必要な教材を購入した。また、購入した教材を活用し、学内実習に対応している。自宅待機を指示した学生に対しては、オンラインで受講できる環境を整え、学習の機会を確保した。	購入した教材を活用し、学内実習の充実を図るための教育方法を検討する。今後さらに、遠隔授業にスムーズに対応するための環境を整備する。
教職員の養成	岩手県看護協会が主催するラダー別スキルアップ研修会に参加した。コロナ感染拡大によりオンライン形式での研修が増え、参加しやすい環境である。教員は担当科目の授業評価を実施しているが、全員で共有することができなかった。学内演習等は複数の教員が担当するが、他の教員の授業公開や参観はできていない。	教員間で学内授業の参観や授業公開を実施したり、授業評価を共有する等、新任教員への指導やスキルアップに取り組む。
広報・地域活動	ホームページに授業や行事など学校生活に関する情報をタイムリーに発信している。令和4年度、感染対策を講じて3年ぶりに学校公開を開催した。コロナ感染拡大の影響により、地域施設からのボランティア要請はすくなくかった。学院周辺の美化活動や雪かき、高齢者施設へメッセージカードを作成して送るなど、学生自治会を中心に地域貢献活動を実施した。	地域貢献活動については、学生自治会を中心に、引き続き可能な範囲で実施できるよう支援する。